

InfiniVAN, Inc. (以下 IVAN) が、フィリピン航空との間で、航空券予約システムと拠点を結ぶ専用回線の供給に向けて合意。実証実験を開始

セキュリティと安定性のために、クローズドのネットワークを必要とする金融機関などに対して、通信ネットワークを提供するための実証実験を開始。

1. 合意内容について

2019年12月、当社子会社 IVAN は、フィリピン航空との間で、マニラ首都圏地域の発券カウンター（13か所）とマニラ首都圏地域内にある航空券予約システムのホストコンピューターとの通信を行うためのデータ通信サービスを提供することで同社と合意いたしました。

IVAN は、マニラ首都圏地域内の主要発券カウンターと航空券予約システムが格納されたホストコンピューターを接続する回線を準備し、両社で本格的なサービス提供に向けた実証実験を1月16日から開始する計画です。



2. 背景

IVAN は、マニラ首都圏地域内の都心部で、法人向けブロードバンドサービスを提供するために、鉄道施設・幹線道路などに光ファイバー回線を敷設して、サービス提供地域の拡大を進めております。

その結果バックアップルートの整備を通じて、都心部だけでなく、マニラの多くの地域に回線を敷設されており、都心部以外でも通信サービスの提供の準備が整ってきております。しかし都心部以外は、法人顧客が少ないところも多く、既存サービス以外のサービスを開発してこれらの回線の稼働を高めることが課題となっております。

そうした中、求められるセキュリティの水準の高さからブロードバンドサービスを業務では使用しない事業者、例えばクローズドネットワークを構築している金融機関や航空会社向けのサービスは、IVAN にとっては、新たな需要となります。またこのような事業者はセキュリティだけでなく、ネットワークの安定性も重視していますので、多様な事業者からデータ通信サービスを受けるのに前向きで、新規事業者の参入余地もあります。そのためこうした大手企業向けの、クローズドネットワークサービスの開発を進めてまいりました。

また IVAN は、マニラ国際空港でブロードバンドサービスを提供するなど、航空業界との提携を進めていることも、今回の実証実験を行うことにつながっております。

今回の実証実験の結果採用が決まった場合、マニラ首都圏地域にある 13 か所の発券カウンターとホストコンピュータ間の通信に、当社のデータ通信サービスが導入されます。あわせて金融機関に対しても、この拠点間ネットワークでのデータ通信サービスの利用を提案してまいります。

3. 今後の見通し

当期につきましては、実証実験中であり、収益に寄与いたしません。今後採用するお客様の規模・件数によっては来期以降、IVAN、当社の収益に貢献する可能性があります。

注) フィリピン航空 1941 年設立のアジアで最も歴史のある航空会社。1946 年アジア初の国際線を運航開始。フィリピンのナショナルフラッグキャリア。

社名：株式会社アイ・ピー・エス

証券コード：4390

所在地：東京都中央区築地 4 丁目 1 番 1 号 東劇ビル 8 階

代表者：代表取締役 宮下 幸治

本件に関する問い合わせ窓口：IR 室 03-3549-7719 ir@ipsism.co.jp